

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

推進校実施報告書

- 1 学校名：広島県福山市立久松台小学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年12月20日（木）10：00-12：20
- 3 対象：講演 約350名（全校）、実技指導 約70名（6年生）
- 4 派遣オリンピック： 田中 琴乃 さん  
（新体操 北京、ロンドン大会出場）
- 5 授業内容：講演、実技指導

2018（平成30）年12月20日（木）に、広島県福山市立久松台小学校にて、新体操の田中琴乃さんの講演と実技指導が行われました。

「オリンピックという夢の実現」というテーマで行われた講演において、田中さんは、自身が新体操を始めてオリンピックに出場するまでの経験を振り返りながら、生徒達がこれから生きていくうえで有用だと考えることをお話しされました。

まず始めに、田中さんが北京オリンピック出場を決めた選考大会の映像を見せながら、演技中はアイコンタクトでタイミングを合わせたりするなどの新体操の演技のポイントを紹介されました。また、新体操の競技の種類やルールなども説明されました。

続いて、新体操を始めてからオリンピック出場を果たすまでのお話がありました。田中さんは、5歳のときに、踊るのが楽しかったということに加えて、体型が気になった、人見知りだった、などの課題を克服するために、親の勧めで新体操を始めました。当時はただ楽しくて新体操を行っているだけでしたが、小学生になってある人の助言でオリンピックを目指したいと思うようになりました。それが、小学校のときの校長先生でした。休み時間に校長室に行って、校長先生とお話しをするのが好きだった田中さんは、ある日たまたまついていたテレビでオリンピックの開会式の映像を目にしました。元々オリンピックを知らなかった田中さんは、テレビの映像を指して「これ何？」と校長先生に聞くと、校長先生は「オリンピックの開会式だよ、琴乃ちゃんも頑張ればオリンピックに出場できるよ」と教えてくれたそうです。この大好きだった校長先生との会話をきっかけに、田中さんはオリンピックに出場したいと考えるようになりました。しかし、小学生の頃は、大会に出場しても目立った成績を残すことができていなかった田中さんは、父親から次の大会で3位以内に入らなければ新体操をやめて勉強に専念すると言われてしまいました。オリンピックを目指したい、でももし記録が出なければ新体操をやめざるをえない、というプレッシャーを抱えながら小学生最後の大会に挑みました。すると、周囲のミスにも助けられ大分県大会で優勝することができました。この大会を契機に、自信をつけた田中さんは、中学校に進むと毎日、少しでもうまくなろうと努力を続け、3年生のときに全国優勝を成し遂げました。こうして全国レベルの選手になった田中さんは、日本代表にも選ばれ、東京の高校に進学し寮生活を始めました。高校生のときは1日8時間の練習を週6日行うという生活を送りました。その中で、日々の当たり前のことが多くの人に支えら

れていることを実感したそうです。しかし、このような苦しくも充実した日々も、長くは続きませんでした。高校1年生のときに、世界選手権で7位になり北京大会の出場権を得るのに貢献した田中さんを病気とケガが襲いました。オリンピックに出場するという目標が目の前に迫る中で、自分がメンバーに選ばれて出場できるのか、という不安が原因で病気にかかり、さらにその病気によって体が弱ってしまったことでケガをしてしまいました。それでも何とか自分を奮い立たせて北京大会に出場することができました。しかし、病気やケガの影響もあり、満身創痍の状態演技をした田中さんは、満足のいく演技ができず、何よりも大会を見にきてくれた両親にありがとうの気持ちを伝えることができずに、大会後にとっても後悔をしました。そこで、次のロンドン大会を目指してもう一度頑張ろう、という気持ちになりました。そして、ロンドン大会は、チームをまとめるキャプテンとしての役割も果たしました。このような2回のオリンピックの経験を振り返りながら、田中さんは、1回目に出場した北京大会では、オリンピックに出場したい、という思いしかなかったが、ロンドン大会に向けて、オリンピックに出場して家族に笑顔で感謝の気持ちを伝えたい、と思うようになりました。結果的に、ロンドン大会では7位に入賞することができ、目標を達成することができました。このような経験から、田中さんは、昨日の自分に負けなくらい強い気持ちで練習をすることと自分のためではなく「人のために」頑張ることが大きな力になる、ということ学びました。そして、児童に対して、目標を持って努力することを大切にしてほしい、というメッセージを送られました。質疑応答では、児童から、スランプの乗り越え方などについて質問がありました。

さらに、休憩後、6年生を対象とした実技指導が行われました。初めて新体操で行うストレッチや運動を経験する児童は、思うように身体を動かさないことに戸惑いながらも田中さんの真似をしようと一生懸命に取り組んでいる様子が見られました。

## 6 授業の様子



【 講演 】



【 模範演技 】



【 ストレッチ 】



【 ボールを使った運動 】